

令和3年度 女性の活躍応援協議会くまもと 各構成団体の取組状況等

	大学コンソーシアム熊本	熊本商工会議所	熊本県経営者協会	日本労働組合総連合会熊本県連合会
令和3年度（2021年度）の活動方針、活動内容、活動事業（実績等）	<p>本コンソーシアムは、県内の高等教育機関（大学・高専等）13校が加盟し、事業計画を立て活動しており、その中の男女共同参画推進事業において、女性活躍推進に向けた取り組みを含めた情報交換や交流の機会を作り、意識改革・啓発活動を目的とした活動を行っている。</p> <p>令和3年度は、女性を含めたあらゆる多様性を尊重する、ダイバーシティ推進の一環として「LGBTs」をテーマに下記の通り活動を予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議：3回（R3.5、R3.9、R4.1） ・勉強会：1回（R3.9） ・周知活動：女性活躍推進に向けたイベントの周知を各加盟機関へ行う。 	<p>○「女性ヒューマンリソース研究会（※）」にて取りまとめた提言書を、関係機関へ提出する予定。</p> <p>※介護を理由とする離職を防ぎ、介護をしながらでも働き続けることができる職場環境の整備等の提案を目的として熊本商工会議所「産業活性化委員会」内に設立した研究会</p> <p>○「女性起業塾」等の開催により、女性起業家の輩出、女性活躍の機運醸成に努める。</p>	<p>・熊本県受託事業「女性リーダー養成講座」（9月～11月）の開催。（①キャリアアップ塾②スキルアップ塾③経営参画塾）及び、修了生ネットワーク（クマドンナ）の構築。</p> <p>今年度は一部リアル開催だが、基本はオンライン）</p> <p>・女性活躍推進に関する各情報の会員向け周知（Eメール、資料送付等）</p>	<p>・連合熊本では6月を男女平等月間と位置づけしており、男女平等参画推進委員会を設置し女性委員会と共に熊本労働局に対し、男女平等推進の要請行動を行った。</p> <p>・構成組織に対し、男女平等推進状況調査を行った。内容としては産別・単組における執行体制への女性参画率及び一般（特定）事業主行動計画の取組み状況について調査。また、本調査は、組合役員、組合員への浸透も目的とするものでもある。</p> <p>・「一般（特定）事業主行動計画」制度の周知、及び経営側との検討会（意見交換会）の推進</p> <p>・女性のための全国一斉労働相談（6月）</p> <p>・国際女性デー（3月8日）の取り組み</p> <p>本年は3月7日（日）に連合女性委員会が男女平等、女性の社会参画を訴えるため街宣行動を行った。</p>
女性の活躍推進に関するご意見等	<p>女性活躍推進に向け職場では、子育て・介護と仕事の両立支援、女性の職業能力の習得および向上のための支援、女性のモチベーションを上げる環境づくりが必要であると考えます。</p> <p>協議会の構成団体の皆様と、このような交流の場を設けていただき、情報交換ができる機会は大変参考になります。</p>	<p>○男女の職業生活と家庭生活との円滑かつ継続的な両立等、女性の活躍推進に向け、有用な情報を当所会員に発信していきたい。</p>	<p>特に民間企業組織においては、男性経営陣の意識改革の遅れがあるのは否定できないが、女性社員の積極的な向上心不足も見受けられる。今の地位に甘んじていることを良しとする傾向もまだまだ多い。それを解消する方策も難しいが、女性起業家・組織内での昇格成功例などを、さらに示していくことも大事だと思う。</p>	<p>・労働組合としての立場からは、女性役員のなり手不足が課題としてある。特に三役については男性の占める割合が高く、女性枠を設けるなどしている。</p>
他団体への情報提供・周知事項等（他団体への情報提供・周知事項等）	特になし	特になし	特になし	特になし

	日本政策金融公庫熊本支店	株式会社 熊本日日新聞社	熊本県社会保険労務士会	熊本市認定農業者協議会女性の会
令和3年度（2021年度）の活動方針、活動内容、活動事業（実績等）	<p>（公庫全体のダイバーシティー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2年度に実施できなかった支店内プロジェクトチームの組織化をR3年度は再開。 ・支店長をキャップとし、若手を中心としたダイバーシティー推進委員3名を中心に勉強会を実施する。 ・コロナ禍で密回避のため在宅勤務の推進、また顧客や関係機関ともオンラインで接点を持つ機会を増やすためのデジタル化を図る。 ・上記のことを職員の柔軟な働き方の体制を整えることにつなげる。 ・また外部との意見交換会を実施し、他機関の取組みを参考にすることで改善に反映させる。 	<p>■社内</p> <p>①ワークライフバランスの一層の推進 「働き方改革」とワークライフバランスを一層推進し、生産性の向上と働きやすい職場を追求する。</p> <p>②採用、幹部登用での女性割合の引き上げ 採用でのさらなる女性割合引き上げ、幹部登用のための社内環境を整備し、外部機関の活用も含め研修制度を充実させる。</p> <p>③男性社員の育休取得の促進 育児休業制度を社員に周知徹底し、同時に休暇を取りやすい雰囲気づくりを進める。</p> <p>④女性社員が働きやすい職場環境の整備 長時間労働のさらなる抑制と、出産・育児をしながらスキルアップできるキャリアパスの提示を考える。</p> <p>■社外</p> <p>前年度に引き続き、新聞社として報道を通じて「女性活躍推進」「男女共同参画」を促す考え方や活動をサポートしていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会員に対して定期刊行物等により、女性活躍推進に向けた先進的な取組を行っている事例を紹介 ・会員を通じて顧問先事業所への案内 ・全国社会保険労務士会連合会のweb研修システムによる研修（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律のポイント、働き方改革関連研修等）への会員への受講勧奨 	<ul style="list-style-type: none"> ・視察研修 ・農産物PR活動、食育活動（児童養護施設への農産物贈呈・龍山学苑） ・熊本市農業者大会 ・熊本市長との意見交換会
女性の活躍推進に関するご意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、職を失う女性も多いと聞く。 ・一方で男女問わず、多様性、柔軟な働き方が求められる世の中へ流れが変わったとも感じれる。 ・この変化を好機ととらえ、引続き他の機関とも連絡を緊密に行い、有用な情報を共有したい。 	<p>①差別意識の本質的な解消 東京五輪での一連の騒動に代表される男女にとどまらない差別意識、偏った考え方について常に問題提起し、是正する取り組みを続けていくことが必要だ。</p> <p>②子育て環境の一層の向上 男女に関係なく、育児環境改善のスピードが遅いと感じる。保育所もなかなか希望通りの場所に預けられない状態。出産後の復帰もなかなか前倒しにできない現実もある。男性のサポートも周辺の理解不足から子育てに向かうことにハードルもあり、制度の充実とともにさまざまな周知活動を進める必要がある。</p> <p>③行政、議会の取り組み不足 本来女性活躍推進で旗振り役であるべき行政、地方議会での女性が占める役職者、議員数がまだまだ少ないと感じる。「割り当て」制を含めスピードアップさせる必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍を推進したいが何から始めたら良いかわからないという事業所が多い。 ・育児やキャリアプランなどの従業員のニーズがわからないという事業所が多い。 ・職場復帰プログラムや在宅勤務制度等仕事と育児・介護との両立支援の制度があっても、実際に利用実績がほとんどなく、機能していないことが多い。 <p>上記問題点に鑑み、経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスの推進（結果的に採用に有利だったり、有能な人材が辞めずにすむ、労働意欲が向上する等メリット）を、特に企業のトップに推奨したい。</p> <p>各団体との連携の緊密化を図りたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響で各事業、活動等ができない。 ・女性の会、会員の加入がなく、家庭内でも高齢化や介護等の課題もある。 <p>※市内各地域の女性農業者に対して、入会の勧誘を行う。</p>
他団体への情報提供・周知事項等（他団体への情報提供・周知事項等）	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートでの他機関とリモートワークなどに係る勉強会を検討中。 <p>環境整備などの課題もあるが、賛同いただける機関があれば、ご連絡いただきたい。</p>	特になし	特になし	特になし

	熊本県男女共同参画活動交流協議会	熊本労働局雇用環境・均等室
令和3年度（2021年度）の活動方針、活動内容、活動事業（実績等）	<p>1. 組織の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 協議会の普及啓発活動 ・ 団体会員、賛助会員及び個人会員の拡大 会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ● 総会の開催・講話の実施 『第5次熊本県男女共同参画五か年計画について』 木村和子氏（熊本県男女参画・協働推進課 課長） 西村まりこ氏（熊本商工会議所副会頭、熊本県女性の社会参画加速化会議副会長） ● 代表者会議 年12回程度 <p>2. 男女共同参画推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 会員相互の研修交流会の開催 ・ 男女共同参画フォーラムの開催 令和4年2月12日（土） 熊本市中央公民館7階ホール テーマ「命を守るーコミュニティを支える人ター」 講師 本田節氏 他 役員研修 「男性の育児休暇の現状と法制化後の今後について」熊本労働局講話 10月 <p>3. 県・市との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 県・市等関係会議への出席 ・ 関係団体等への協力・参加 	<p>①「新しい働き方」に対応した良質なテレワーク・在宅勤務、時差出勤、フレックスタイム、勤務間インターバル、残業縮減、休暇取得促進、副業・兼業、オンライン会議等の普及促進を図るため、助成金等の活用による支援に取り組む。</p> <p>②仕事と育児・介護との両立支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 改正育児・介護休業法の周知徹底を図ることにより、男性の育児休業取得を促進する。 育児・介護休業法の履行確保 次世代育成支援対策の推進、「くるみん」認定や「プラチナくるみん」認定の取組促進。本年4月施行の行動計画指針（「不妊治療を受ける労働者に配慮した措置の実施」が追加）について、助成金の活用とあわせて周知 不妊治療を受けやすい休暇制度等職場環境の整備支援 <p>③ 女性の活躍推進</p> <p>令和4年4月1日施行の改正女性活躍推進法対象義務企業（常用労働者数101人以上300人以下の企業）に対して助成金の活用を推進しながら取組支援、「えるぼし」認定や「プラチナえるぼし」認定の取組促進。</p> <p>男女雇用機会均等法の履行確保</p> <p>④ あらゆるハラスメント対策の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> セクハラ、妊娠・出産、育児・介護等のハラスメント防止措置に取組むよう周知 中小企業に対して、令和4年4月施行のパワーハラスメント対策の取組促進 <p>⑤パートタイム・有期雇用労働法の履行確保と支援</p>
女性の活躍推進に関するご意見等	<p>当協議会でも20年の歴史のなかで、平成12年から本年まで男女共同参画フォーラム、研修会等を行っていきな、20年の歩みとして女性の活躍推進の歴史をまとめた記念誌の編纂に取り組んでいきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠した際に退職勧奨を受けた、育児休業取得後に職場復帰を断られた、セクハラなどのハラスメントを受けて就業継続できないなど、本人の意思に反して就業継続できにくいという相談が引き続き多く寄せられている。 令和2年度の男性の育児休業取得率は全国では12.65%だが、熊本県は7.0%となっている。 <p>上記のような状況ではあるが、皆様方と連携を図りながら、事業主に対してコロナ禍に対応した柔軟な働き方の普及促進、男女の職業生活と家庭生活との円滑かつ継続的な両立が可能となるよう働きかけを行うとともに、適切な相談対応を行ってまいりますので、引き続きご協力をよろしくお願いする。</p>
他団体への情報提供・周知事項等（他団体への情報提供・周知事項等）	<ul style="list-style-type: none"> ●科衛生士会：「お口の体操」をHPにアップしている。 ●護協会：「豪雨災害を振り返って」各団体の発表をオンラインで行う。 ●一さあ：地域の縁がわ紹介ビデオ「つながり共に生きるそこが地域の縁がわ」各団体へ貸出を行う。 ●月の定例役員会の報告を各団体に通知 	<ul style="list-style-type: none"> 「熊本労働局YouTubeチャンネル」を始めたので周知にご協力願いたい。 <p>えるぼし認定企業を増やすための周知活動の一環として、えるぼし認定交付式の状況を熊本労働局HPにて写真付きで公表しているほか、「熊本労働局YouTubeチャンネル」にえるぼし認定を受けた企業らへのインタビュー動画を公開している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 法改正に関する内容、説明会の周知（改正女性活躍推進法、パワハラ防止対策、改正育児・介護休業法等）について参加者募集に御協力願いたい。

	男女共同参画センターはあもにい	熊本市
令和3年度（2021年度）の活動方針、活動内容、活動事業（実績等）	<p>【活動方針】 新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、オンライン講座などを加えることで啓発を継続する。特に、昨年12月に閣議決定された「第5次男女共同参画基本計画～すべての女性が輝く令和の社会へ～」に示された目標を念頭に、男女共同参画に関する理解のすそ野を広げていきたい。</p> <p>【活動内容】</p> <p>①男女共同参画啓発事業 ＜男女共同参画社会の実現に向けた各種推進事業＞ ・男女共同参画に関する基本的な講座 ・ワーク・ライフ・バランスの推進に関する講座 ・これからの男性の生き方に関する講座 ・市民グループ企画による男女共同参画推進に係る講座 ＜DV防止対策事業＞ ・女性に対する暴力防止に関する講座</p> <p>②社会参画支援事業＜女性の起業・就業支援、キャリアアップ支援事業＞ ・資格取得講座 ・起業家支援講座 ・再就職準備講座 ・キャリア・スキルアップに関する講座 ＜両立支援事業＞ ・家庭生活や地域活動など、仕事以外の生活への参画支援を目的とした講座 ・親子ふれあいにに関する催し</p> <p>③はあもにいフェスタ ④市民グループ等の活動支援 ⑤市民文化の振興及び交流 ⑥その他 自主事業 ・国際女性デーの周知・啓発イベント ・ジェンダー平等を実現するための冊子発行など</p> <p>【活動事業】に関しては、別紙「事業一覧」をご参照ください。</p>	<p>男女共同参画課の取組</p> <p>①女性の活躍推進事業 ・男女共同参画型再就職支援 ・女性のつながりサポート事業</p> <p>②男女共同参画出前講座の実施</p> <p>③情報誌はあもにいの発行</p> <p>人事課の取組</p> <p>・次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画の実施状況の公表</p> <p>人材育成センター</p> <p>・各種女性職員育成研修への派遣</p> <p>子ども政策課の取組</p> <p>①熊本市結婚子育て応援サイトの運用継続</p> <p>②子育て支援優良企業認定の実施</p>
女性の活躍推進に関するご意見等	<p>新型コロナ感染症の拡大は、とりわけ女性に深刻な影響をもたらしている。その背景には、日本の慢性的なジェンダー不平等の問題がある。男女共同参画社会の形成を推進するには、男女の置かれている状況を客観的に把握することが重要である。</p> <p>全国における労働者の状況（非正規雇用の割合、男女賃金格差等のデータ）や自殺者数、家庭内暴力の被害数、大学の中退者数などを見ると、単純に「女性も社会進出しましょう、結婚・出産後も活躍しましょう」という施策では解決できない問題が多いと感じる。</p> <p>当会でさまざまな情報を共有し合い、議論することで改善への道筋を探したい。</p>	<p>女性の活躍推進には、固定的性別役割分担意識の解消が必須であると考える。長い年月をかけて根付いてきた無意識の思い込みを、意識的に解消していくために、引き続き事業を実施していく。</p> <p>本協議会の構成団体であられる皆様とともに、女性活躍推進法に基づき男女の職業生活と家庭生活との円滑かつ継続的な両立が可能となるよう、責務を果たしていきたい。</p> <p>コロナ禍ではあるが、相互の連絡を図り有用な情報を共有し、連携の緊密化を図りたい。</p> <p>今後ともご理解・ご協力をお願いする。</p>
他団体への情報提供・周知事項等（他団体への情報提供・周知事項等）	<p>SDGsの5「ジェンダー平等を実現しよう」を念頭に、今年度はウィメンズカレッジとメンズカレッジの合同開催を試みている。次年度以降も両講座の受講生募集に協力いただきたい。</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク推進学習会 ・ソーシャルビジネス基礎講座 ・男女共同参画基礎講座「四賢婦人とそのフォロワーたち」 ・防災出前講座 <p>の講座情報を提供します。チラシ（別紙）をご参照ください。</p> <p>* 昨年度作成したGEジャーナルVol.3「わたしがわたしらしく 生きられる 社会を」もご覧ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画課の取組中、「男女共同参画型再就職支援」について <p>コロナ禍において、再就職への課題を抱える子育て中の女性に対し、正規職員雇用に向けた支援を行う。</p> <p>受講対象者：18歳以下の子どもを養育中の女性</p> <p>受講者数：10名</p> <p>受講期間：9月28日～10月15日までの土日を除く毎日</p> <p>プログラム：パソコン講習、保活セミナー、再就職体験者との交流会、キャリアコンサルティング、企業面談会等</p> <p>受講者募集。周知にご協力いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画課の取組中、「女性のつながりサポート事業」について <p>不安を抱える女性に対する相談支援や居場所づくり、生理用品等の提供等を11月以降予定している。実施の際は、周知にご協力いただきたい。</p>